

感謝

第12期 伊藤 大貴

小野ゼミで過ごした三田での2年間は、ものすごく濃く、充実した日々であった。コトラーの書籍を要約した3年生前半。ケーススタディーやディベートを始め、三田祭論文(英語論文)をこなして行った3年生後半。卒業論文に取り組んでいた4年生。これらの行事をこなすことができたのは、自分1人の力ではなく、小野先生を始め、多くの同期から協力を得ることができたおかげだと思う。多くの人に、たくさん迷惑をかけてしまったが、ここで得た経験は、かけがえのない財産になった。

自分は、慶應義塾 NY 高校を卒業した身であり、大学へエスカレーター式で入れるので、受験をしたことがなく、入学するまでは、サッカーしかしておらず、全くと言っていいくらい勉強をしておかなかった。自分以外の同期は、受験戦争を勝ち進んできたつわものばかりで、当初は勉強内容についていくことが難しく、戸惑う時もあった。しかし、こんな私でも、この小野ゼミは受け入れてくれて、勉強面などでついていけなかった時も親切にご指導してくださった小野先生や同期のみんなには本当に感謝している。小野ゼミに入れたことを誇りに思い、さらに、小野先生のような生徒思いの先生の下で勉強できたことを誇りに思っている。

それでは、この場をお借りして、同期の中でも特にお世話になった英論メンバーにコメントを残したいと思う。【平嶋】英論代表お疲れさま！ 帰省とかで、何度か集まりに参加できなくてごめんね。いつもクールな平嶋だけど、時に可愛い一面を見せてくれるね。三田祭パネルがなかなか完成しなくて、梶田の家でオールしたね。その時、みんな疲労がたまって、雰囲気が悪かったけど、平嶋が、お風呂場で歌を歌っていて、平嶋の意外な一面を見ることができて、みんな笑顔になったよ。また、アメリカ行きの入国審査でこずって、少しでも強く見せるようになってサングラス買ったね。かわいかったよ！ 【荒井】荒井は、英論や KUBIC の時に同じ時間を過ごしたね。3年生の時、自分の家に何度も泊まりに来て、サッカーの試合見たね。論文が進んで行くにつれ、内容が難しくなって、チーム内でなかなか発言できなかった自分に優しく声を掛けてくれて、本当にありがとう！ 荒井がいたから、英論チームで、楽しい時間を過ごせたと思う！ 【梶田】梶田は、自分が今まで出会ってきた中で1番熱い男！ **Change the world** というメールアドレスから、梶田の人柄を知らない人は、“こいつ何言ってるの？”と思う人もいるだろうけど、梶田は、彼自身が掲げている夢を有言実行するため、本気で頑張っている。その姿を見ると、本当に尊敬するよ！

改めて、小野ゼミでの2年間は、とても充実していた。色々な価値観を持っている個性的な同期と過ごすことによって視野が広くなり、2年間で大きく成長できたように思う。小野先生をはじめ、ゼミ生みんなに、心の底から感謝しています。